



第350号
10月
 2015年
 〒461-0004
 名古屋市東区葵2丁目6-35
 カトリック名古屋教区広報委員会
 「教区ニュース」編集部
 電話 (052) 935-2223
 FAX (052) 935-2254
 印刷所 株式会社 荒川印刷
 毎月第1日曜日発行

10月18日(日)
世界宣教の日・献金
 全ての人に宣教の心を呼び起こさせ、世界の福音化のために霊的援助をはじめ宣教者たちの交流を各国の教会間で推進する目的。

第77回聖霊病院 10/16(金) 10/22(木)
秋の聖書週間
 テーマ…人類はひとつ
 講演会「アフリカにおける医療」他

教区ホームページ
福音のひびき
 10月の説教者
 4日 年間第27主日 フェルディナル・バカリサ (布池教会)
 11日 年間第28主日 ケレハ・ブレンダン (神言修道会)
 18日 年間第29主日 田中 英次 (富山教会)
 25日 年間第30主日 北村 雅彦 (東山教会)

名古屋教区ヒロシマ平和巡礼 平和の尊さ学ぶ 中高生12人



教区中高生会ヒロシマ平和巡礼が8月4日～6日の三日間で行われた。参加者12人(中学生7人、高校生5人)とスタッフ6人が参加しました。今回ははじめて参加するメンバーが大多数でした。

**訪れる外国人
 平和実現の鍵
 悲劇を記憶に**

この三日間を通して、改めて原爆がもたらした悲劇を深く記憶に残すことができました。そして、今回初めてこの巡礼に参加する人が多かったのが、友だちを増やすことができ、とても充実した三日間となりました。

12人全員が感想文を書きました。リリーターの梁良我さんと、はじめて参加した中学1年の六川鈴花さんの感想文を紹介いたします。

**核兵器の
 恐ろしさ
 胸に刻み**

原爆ドームを目にしただけで戦争の恐ろしさを悟ることができた。テレビや本の写真で何度か見かけたことがあったが、実際は写真よりもっと細かいところまで見られたため、とてもむごたしく



今回、僕は三回目のヒロシマ巡礼でしたが、戦後七十年の年ということもあり、例年より多くの人が平和記念公園に集まっています。その中には外国人も多く来ていて、「ヒロシマ」が世界平和を実現させるための大きな鍵を握っているんだと強く感じました。

わがしらの世代は戦争や核兵器の恐ろしさを直に接しているわけではなく、前世代の意思を受け継ぐ権利はないと思う。だから他でもないわたしたちが受け継いでいかなければならぬ。わたしたちが受け継ぎ訴えていかなければ、この世から、戦争や核兵器は消えないと思う。そのため戦争や核兵器廃絶を訴える取り組みに積極的に参加したいと思っ

信徒協の広島巡礼 戦後70年の節目



8月5日～6日、1泊2日で広島巡礼に参加しました。今年原爆投下から70年の節目を迎え、「戦争は人間(われわれ)のしわざです」をテーマに開催されました。信徒協から10人、中高生から18人の参加がありました。

分科会では被爆証言を聴講しました。被爆した方があまり被爆体験の話をしたくないと聞いたことがあり、今回の証言者、梶山聡子さん(戦時中、分科会)も初めて話をすることでした。話せばあの忌まわしい記憶がよみがえってくるのが耐えられなかったのではないのでしょうか。それほどに戦争・原爆というものが人の心にも体にも耐えがたい苦痛を与えるものであるということ強く思いました。しかし日本政府が平和とは違う方向を模索してきた今、どうしても黙っていられないと、お話をさせて頂けたと思います。被爆から今年で70

分科会を終え、平和公園に場所を移して皆様からお預かりした千羽鶴を奉納して、WAR(戦争)よりWA(和・輪)のプラカードを掲げて平和行進しました。6日は報道によると過去最多で100ヶ国の代表者の出席と5万5千人の参加者があったそうです。

私たちは朝、戦時中、原爆・すべての戦争犠牲者追悼ミサに与り、司教様と記念写真を撮って自由時間を過ごし帰路につきました。戦争は人間のしわざ(仕事)、平和は人間のわざ(技)。(文責 信徒協協賛 宣教師 川畑健市)

8月5日～6日、1泊2日で広島巡礼に参加しました。今年原爆投下から70年の節目を迎え、「戦争は人間(われわれ)のしわざです」をテーマに開催されました。信徒協から10人、中高生から18人の参加がありました。

5日は、戦時中(平和祈念堂)と敷地内の会

基調講演では、韓国・済州教区のカン・ウイ司教様が流暢な日本語

わたしたちの世代は戦争や核兵器の恐ろしさを直に接しているわけではなく、前世代の意思を受け継ぐ権利はないと思う。だから他でもないわたしたちが受け継いでいかなければならぬ。わたしたちが受け継ぎ訴えていかなければ、この世から、戦争や核兵器は消えないと思う。そのため戦争や核兵器廃絶を訴える取り組みに積極的に参加したいと思っ

わたしたちの世代は戦争や核兵器の恐ろしさを直に接しているわけではなく、前世代の意思を受け継ぐ権利はないと思う。だから他でもないわたしたちが受け継いでいかなければならぬ。わたしたちが受け継ぎ訴えていかなければ、この世から、戦争や核兵器は消えないと思う。そのため戦争や核兵器廃絶を訴える取り組みに積極的に参加したいと思っ

わたしたちの世代は戦争や核兵器の恐ろしさを直に接しているわけではなく、前世代の意思を受け継ぐ権利はないと思う。だから他でもないわたしたちが受け継いでいかなければならぬ。わたしたちが受け継ぎ訴えていかなければ、この世から、戦争や核兵器は消えないと思う。そのため戦争や核兵器廃絶を訴える取り組みに積極的に参加したいと思っ

平和旬間に当たって 2015年平和旬間メッセージ

戦後70年を迎える今年、私たちは未来に大きな影響を与えるような岐路に立っています。世界では中東、アフリカをはじめ、世界のいたるところで非人間的な暴力、戦闘が繰り返されています。日本では、この暴力的な渦の中に軍事介入できるように走り始めています。このような時にこそ、暴力ではなくいのちと平和の連鎖によって世界が変わるように働きかけていく必要があります。そのためにも、この現実の中で、神の意思はどこにあるのかを真剣に考え、傍観者としてではなく、この社会を構成し未来の在り方に責任を負っている一人のキリスト者として真剣に考え、祈り、行動したいと思っ

この平和旬間を大切に、人間の尊厳を踏みにじられている人々のために、そして平和のために心から祈りましょう。

名古屋教区司教 ミカエル松浦悟郎

東日本大震災・災害支援金の報告

社会福祉委員会

発災時より社会福祉委員会へ振込まれた支援金の会計報告

(1) 会計報告 (2011.3.17～2015.9.8)

(収入) 小教区からの支援金総額	22,536,707
(支出) カリタスジャパンへ振込	9,500,000
さいたま教区へ振込	1,000,000
オールジャパン会議交通費	123,620
*大阪教区管区大船渡プロジェクト支援	10,585,774
大船渡ベースへ車いす4台寄贈	123,200
大船渡ベースへ(デジタル)ピアノ寄贈	58,800
ボランティア交通費補助	441,150
支援金残高	704,163円

(2) 前月報告(2015.7.13)から2015.9.8までに寄せられた募金の件数と金額

3件 28,267円 (振込手数料引去後の金額)

ご協力いただいた方々(個人・団体・敬称略)
 押切教会、金沢教会(2件)、長尾あゆ

*次月より司教着座記念チャリティワイン売上げによる寄付金をお知らせ致します。

(3) 支援ボランティア状況
 大船渡ベースへ1名 期間 8/18～8/24 感謝!!

(4) 支援金振込先
 郵便振替用紙にて
 口座番号 00880-6-1628
 名義 カトリック名古屋教区社会福祉委員会
 「東日本大震災・災害支援金」と記入願います

★ボランティアに関するお問合せは下記までお尋ね下さい。
 社会福祉委員会(担当:村上)
 電話 052-852-1426 FAX 052-852-1422

共に生きるための研修会
「研修生とは？」Part II
 彼らをどうサポートできるか?
 …現在かかわっている現状と実績(諸問題を含めて)…

愛知県は自動車産業の中心地でもあり、多くの外国人が働きに来ています。その中でも特に研修生という資格で日本に来ている方々の中には、契約状況や生活環境など人権問題にかかわるケースが多々あります。まず研修生をめぐる現状を知り、前回の研修会以後、どのように進捗しているのか、現場がどのように変化したのか、共に考えてみたいと思います。(質疑の時間を多くとっていますので、わかりやすく、具体的に話し合いが出来ると思います。)

日時 10月12日(月・祝) 13:30～16:00
 場所 みこころセンター3階ホール
 中区丸の内3-6-43
 主催 名古屋カトリック難民移住移動者委員会
 Tel & Fax 052-953-9480

「これからの教会を考える」講演会

6月13日に行われた信徒使徒職協議会主催松浦司教講演会、8月9日合併号の続きです。



現実が教会を動かす

この数年間、教会は第2バチカン公会議50年を記念してきました。

第2次世界大戦後直ぐに東西冷戦と南北の貧富の格差が顕在化し、1961年にはベルリンの壁が造られ、公会議開催の3日後、62年10月14日にはキューバ危機が起きて核戦争の寸前までいきました。

こうした世界の動きにヨハネ23世は、閉じていた教会の窓を思い切って開けました。世界の苦しみ民の声が入ってきました。ドロドロとした世界の現実が教会の中にも入ってきました。教会は大きく揺れました。しかし、それがバチカン公会議の選んだ教会の姿です。だから現代世界憲章で、「世界の人々の喜びや悲しみは、キリストの弟子たちの喜びや悲しみでもある」と宣言したのである。

教会は世の中にパン種として入っていく、その中で生きるのです。世界を内側から福音の光で照らし、変えていく、それが本来の教会の姿です。

現実から出発する信仰

現実に向き合うと、私たちの信仰が問われます。その現実を信仰を携えて生きていく、それを支えるのが教会です。

たとえ、信仰を生き切れない自分があったとしても、自分を否定するのではなく、そのありのままの現実から出発するのです。その上で、キリストに従っていくにはどのような歩みを出せば良いかを共に分かち合い、祈り、イエスをいただいて同じ自分の現実に戻っていくのです。

このように、教会では、みことばと秘跡、そして共同体の支えによってイエスの現存を感じることができ、イエスにながって現実を生きていくのです。

教会の役割

教会には「信仰からの奉仕」と「信仰への奉仕」があります。信徒は、具体的な生活の中ですべての人々の救いのために奉仕をしていく、それが「信仰からの奉仕」です。一方、このような信徒の奉仕を支え、派遣してあげるようにみことばや典礼、秘跡などで信仰を養うために奉仕をするのが「信仰への奉仕」で、そこに司祭の役割があり、時には信徒の奉仕職があります。

私たちが人々にもっと

も伝えたいことは神の存在よりも「あなたは神から愛されている」ということです。それを言葉や人々への関わりを通して伝えるのです。

教会は「しるし」

教会自体が目的ではない。教会を拡大し安定化することではない。

教会憲章は教会を「神と人類との一致のしるしであり道具である」と定義します。

教会は、もちろん未だ完全ではありませんが、神と私たちが、そして人類が一つであることを示す「しるし」であり、道具です。

たとえ教会の中に対立があったとしても、双方は信者として神の前にひざまずく信仰を持っているはず。神に赦しを願いながら和解していくようにする歩みをあきらめないこと、それ自体も「しるし」なのです。

大阪にいた頃、ずいぶん小教区の分裂の問題に悩んでいました。そんな時、問題の小教区を訪問して信徒たちにまず話すことは、「神の前にひざまずく謙虚さを持つ」ということ、それ以外には、自分の思いではなく神がどのように導こうとしているかを祈りながら話し合いをしよう」ということでした。和解したい、一致したいからちゃんと言え、という前提があれば、遠慮せず、思いのたけをぶつけ合うこともできます。

司祭同士でもそうでした。共同司教司牧でチームメンバーとして対等に

やっていくとすると時々はぶつかかることもありましたが、でも「あなたと一緒にやっていきたいから」という思いがあったので、本当に遠慮せずに意見をぶつけ合うことができたのです。そのため、時には一週間ほど口をきかないこともありましたが。

旅する教会

私たちは「旅する教会」と呼ばれますがその反対は「磐の教会」。

教会は聖であり、善であるけれど世の中は罪に満ちている。だから、外で汚れたら中に入らう。またきれいにしてもう。いつも守るために閉じている教会です。

「旅する教会」に磐はありませんが、窓を開けて放つて壁はもう無い。キリストはこの世を愛し、私たちはその世の中に散らばっているメンバー。そのひとり一人がキリストにつながって、一つのからだ、一つの共同体となっていく。いつか、すべての人がキリストに結ばれて一つとなるまで揺れながらも歩んでいくのが「旅する教会」。

ふつう、旅をする時、目指す「目的地」がなければならぬし、その旅を続けるためにはいつも戻れる場が必要です。世の中の波に揺れる教会だけれど、時には道を外れて迷ってしまうけれど、ちょうど揺れる振り子のよう動かない支点(キリスト)があるから常に中心に戻っていくのです。つまり、この旅の目

的と帰る場所は同じキリストなのです。

約束の地に向かつて

旅の目的は旧約時代か

第30回障害者のつどい

障害をわかちあおう

視覚障害とは

聖心教会(豊田市)

第30回名古屋教区「障害者のつどい」が7月19日に聖心教会で開かれた。台風11号の影響が残



アイマスクをして昼食を取る岩崎一三神父



視覚障害について話す富永諒氏

の中で心配しながら準備を進めたが、当日は天気にも恵まれ障害者・健常者合わせて120名が参加して昼食・交流会、講演会、ミサが行われた。

その後手品の実演、岩崎神父他11人でアイマスクでの食事・歩行体験と介助体験、聖歌での手話練習を行った。会場は終始和やかな雰囲気包まれていた。

聖堂では教区力障連役すので早く捕まえる。これがマテ貝のだごみである。子どもたちはこの興味ある貝とりよりも、カニや小魚とりで夢中で、全身ずぶぬれで走り回っていた。

毎年救急箱を傍らに荷物監視をしていた橋詰さんも90歳と高齢となり、夏目と夜には禁足令が出された。そのため今回は知立駅で細かい指示をして参加者を送り出した。

潮干狩りで疲れて徒歩で駅にたどり着くと、待望の「アイス」に歓声が上がった。

「子どもの過去は聞かされた潮干狩りも、不思議と天気にも恵まれてい

た鉛筆程の穴に塩を落とすと、穴の生物が飛び出す

のいる場所を捨てて旅に安んじられた神の国の完成です。アブラハムもモーゼも十二使徒たちも、名前を呼ばれて自分

交流会は聖堂と信者会館の間の中庭にテントを張って実施。カ障連名古屋教区会長である江戸実行委員長の開会宣言で始まり、松浦信司司教は「この30年の活動は素晴らしい。『人を大切にしよう』と言っても、ハンデのある方のことは接しない」と分らない。接して気づいて開かれた教会へ、家庭教会を目指そう」とあいさつされた。

その後手品の実演、岩崎神父他11人でアイマスクでの食事・歩行体験と介助体験、聖歌での手話練習を行った。会場は終始和やかな雰囲気包まれていた。

自身の経験を交え具体的に話した。社会参加には情報を得ることと歩行が重要で指を通じて読む点の習得、録音図書やネット等での情報入手、耳や杖、全身の神経を使った日常生活の行動事例が紹介された。

疑似体験者からは「形が分からず食べづらい」「方向が分からず怖かった」「介助者を信頼すべきと感じる一方任せきることが難しい」、介助体

松浦司教、岩崎主任司祭、社会福祉委員長の七種司祭による共同司式ミサが行われ、松浦司教は一部、手話を取り入れて司式をした。写真。

干狩りは近年、参加者が100人に満たないのが、ややご不満の橋詰さん、来年は参加者3ケタを夢見

1987年(昭62)に始めた潮干狩りも、不思議と天気にも恵まれてい

る。最初に参加した子供が30歳を超える長丁場のイベントである。アサリ貝とバカ貝の区別も貝の取り方も高学年が低学年を指導する。

血縁を越えていき、いつかすべての人が神の民となるための国が、平和であればそれでよいということではないのです。そこを超えて、すべての人が神の家族となるまで私たちはキリストと一緒に旅をしている教会です。何と嬉しいことでしょうか、私たちはこの世に居ながら帰る場であり、目的でもあるキリストと一緒に旅をしているのですから。



手話でミサを捧げる松浦信司司教

「相手の立場に立つことの難しさ」と信頼し合うことの大切さを学んだ」と報告があり、富永さんは、「障害者には特有の症状があり当事者にしか分からないことだが、周囲の人がそれを知ろうとすることにより理解が進む。この体験を通して、障害があっても前向きに生きていくことを分かって欲しい」とまとめた。

松浦司教は「人と人のバリアフリーが目に見える形だけでなく、心と心にまでもたらされることの大切さを感じた」と感想を述べた。

松浦司教、岩崎主任司祭、社会福祉委員長の七種司祭による共同司式ミサが行われ、松浦司教は一部、手話を取り入れて司式をした。写真。

干狩りは近年、参加者が100人に満たないのが、ややご不満の橋詰さん、来年は参加者3ケタを夢見

1987年(昭62)に始めた潮干狩りも、不思議と天気にも恵まれてい

る。最初に参加した子供が30歳を超える長丁場のイベントである。アサリ貝とバカ貝の区別も貝の取り方も高学年が低学年を指導する。

橋詰さん、長年ありが

カノッサ会の Youth Day in 九州 ～信徒発見150年 私は何を見つける～

開催日 10月10日(土)～12日(月)
会場 「おおむたハイツ」
福岡県大牟田市大字甘木1203-116
対象 青年男女、18歳以上 参加費 3,000円
申込み先 〒156-0045 東京都世田谷区桜上水2-5-1
カノッサ修道女会
Tel 03-3329-3364 Fax 03-3302-1297
Web www.canossa.jp
E-mail canoyouth@gmail.com

《聖書による子育ての集い》

子育ての責任を自分一人に負わされていると感じているお母さん、互いに経験を分かち合い学び合いながら、子育ての喜びを発見していきましょう！「見つけた 子育てのよるこび」を参考にします。

日時 毎月第2日曜日 ミサ後、約1時間
場所 東山教会小聖堂
対象 小学低学年くらいまでのお子さんを持つお母さん
☆お子さんを連れての参加もできます。
担当 シスター渡邊かをる(援助修道会)
※事前の申し込みは不要です。
※お問い合わせは、シスター渡邊まで。
連絡先 援助修道会(052-782-1150)

跣足カルメル在世会名古屋共同体主催

中川博通神父(カルメル修道会) 講演会

「存在の根を探して～イエスとともに～」

日時 10月24日(土) 10時～13時
会場 カトリック日比野教会 会費 500円
参加希望者は、名前・住所・電話番号を、メール(ocds_nagoya2015@yahoo.co.jp)またはファクス(058-372-6305)で担当・佐野綾子まで

《名古屋一日静修》 カルメルの霊性を生きる —アピラの聖テレジア—

日時 11月23日(月)
「念持の祈りとは？」
12月23日(水)
「自分を知ること」
午前10時～午後4時
場所 カトリック日比野教会 信徒会館
(地下鉄・名城線日比野駅下車 徒歩約5分)
指導司祭 九里彰 神父 参加費 1,000円
持ち物 聖書、ロザリオ、筆記用具、お弁当
主なプログラム 講話、念持、ゆるしの秘跡、面接など。
途中に昼食、最後に茶話会あり。
申し込み 下記いずれかの方法でお申込み下さい。
FAX / 0568-62-5167
mail / seisyuu_2015@yahoo.co.jp
ハガキ / 〒484-0076 犬山市橋爪一丁目1-26
「名古屋一日静修」係り



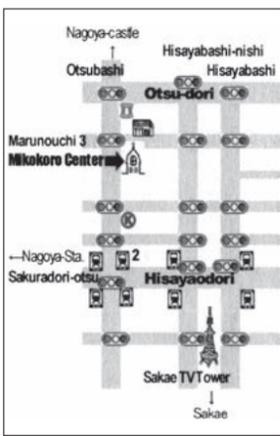
TOMO NO KAI (共の会)

CONSULTATINO & Telephone Service

Monday to Friday : 10:00 am ~16:30 pm
460-0002 Mikokoro Nagoya-shi Naka-ku
Marunouchi 3-6-43
TEL 052-953-9480

Bakit hindi ka KUMUNSLTA? (タガログ語)

- Impormasyon para pagpapakasal sa Hapon at proseso ng Visa
- Kunsoltasyon para sa medical na paggamot
- Pagpapayo para sa pamilya at mga pang-araw-araw na buhay
- Interpret sa telepono (hospital/opisina etc.)
- Suporta sa pamilya at mga bata na mapauwi



教区ニュースの校正・パソコン入力協力者を募集しています。
広報委員会では名古屋教区ニュース記事のパソコン入力、及び校正作業の協力者を募っています。
○パソコン入力
編集部が集めた原稿をFAX又は郵送でお送りしますので、それをワード入力して頂きメールで送って頂く仕事です。ワード入力が出来れば簡単な作業です。
○校正の作業
毎週火曜日から午後1時から3時まで月3回ほど教区センターで文字校正等を行っています。
名古屋教区の信徒の皆さんご協力をお願い出来ませんでしょうか。ご協力頂ける方は編集長・早川努神父(高蔵寺教会)まで連絡をお願いします。
☎0568-19115048

クラレチアン宣教会のフランシスコ・デ・ヘスス増田健神学生の助祭叙階式がミカエル松浦司教により7月11日に行われました。



予測を超える多くの参列者で聖堂も信徒会室もいっぱいになる状態でしたが、増田さんが願っていた「家庭的で暖かい」叙階式そのものでした。この小さな緑ヶ丘教会で叙階式が行われるのは初めてのこと、準備に当たるとしてはかなりの不安もありましたが、受階者の増田さん自身の指導のもとに良い叙階式になるよう皆が心を合わせました。

式後でのパーティーでは増田助祭と松浦司教お二人のフレンチダンスなどもあって、会場は沸き返りました。人々の心に寄り添う素晴らしい司祭となられるよう祈らずにはいられない喜びの時間が流れていきました。(緑ヶ丘教会 鈴木浩彦)

ユスト高山右近の「福者」を願うミサが6月27日に金沢教会で行われた。日本カトリック司教協議会・列聖列福特別委員長の大家喜直司教と秘書の平林冬樹神父、バチカン教皇庁立ダレゴリアナ大学教授・同大学霊性研究所長のアントン・ビットベル神父(イエズス会)が来訪して実現した。

金沢教会のチプリアノ神父、クリストフォロ神父も司式に加わり、三馬教会の信徒も参列して、約100人が一日も早い列福を祈った。聖堂には司教協議会から届いたばかりの、高山右近の霊性・足跡を紹介した啓発用パネルも設置され、列福の機運を高めた。

「来年秋にも列福式」と大塚司教様が見通し。ミサ後、大塚司教らは信徒会館和室で、高山右近も道を究めたお茶を堪能された。金沢、三馬教会の女性信徒有志が「福者」を願うミサが6月27日に金沢教会で行われた。日本カトリック司教協議会・列聖列福特別委員長の大家喜直司教と秘書の平林冬樹神父、バチカン教皇庁立ダレゴリアナ大学教授・同大学霊性研究所長のアントン・ビットベル神父(イエズス会)が来訪して実現した。ビットベル神父は特に、右近は現代の教会、社会の模範であり、取り次ぎ者であると強調した。

緑ヶ丘教会で助祭叙階式 フランシスコ・デ・ヘスス増田健神学生 (クラレチアン宣教会)

ユスト高山右近 「福者」を願うミサ

名古屋教区典礼委員会からのご案内 第42回典礼研修会

テーマ 「マラナター待降節・降誕節の典礼一」
講師 典礼委員会委員長
ブレンダン・ケレハ神父(神言修道会)
日時 10月12日(月・祝)
10:00～16:00 (9:30受付、15:30よりミサ)
会場 南山教会マリア館
参加費 500円
持ち物 聖書、「信仰に生きる—典礼暦に沿って 聖書講座シリーズ12」京都司教区聖書委員会企画・編集(サンパウロ)、「キリストの神秘を祝う—典礼暦の霊性と信心」(日本カトリック典礼委員会・編)、お弁当
※「信仰に生きる」及び「キリストの神秘を祝う」については会場でも販売します。
申込/切 10月3日(土)

青年のための黙想会 【自分を見つめて】

わたしの神よ、わたしはあなたが人の心を調べ、正しいものを喜ばれるのを知っています。(歴代誌上29章17節)

とき 10月10日(土) 15時～12日(月・祝) 15時
ところ 多治見修道院研修センター
内容 祈りのエクササイズ、講話、個人の祈り、ミサ、聖体顕示、霊的DVD鑑賞、など。
持ち物 聖書、ロザリオ、筆記用具、宿泊セット
参加費 4,000円
賛歌対象者 青年男女(18歳から35歳くらい)
指導者 松浦司教、浅井神父、暮林神父、今井シスター
申込み 9月30日(水)
連絡先 カトリック一宮教会
☎0586-73-4884
E-mail: avemaria@yahoo.co.jp
主催 名古屋教区青年委員会

青年のための聖書の学び

自分の人生を切り開きたいわかものたちへ
「学び」の後期計画が完成しましたので、ご案内いたします。
日時 10月18日(日) 父・ヤイロ
11月15日(日) 湖の上を歩く
12月20日(日) 昔の人の言い伝え
1月17日(日) しるし
2月28日(日) 一番偉い人
場所 聖マリアの無原罪教育宣教師会名古屋修道院
名古屋千種区園山町1-56
対象 18歳から30歳(青年男女)
時間 午後2:00～7:30(高校3年生は4:30まで)
詳細 1:30～玄関を開けます。2:00～「学び」
3:00～「分かち合い」、4:00～4:30 おやつ(前半終了)
共同体と共に祈りと食事をする(5:45～ご聖体礼拝、晩の祈り、夕食)、7:30終了
おやつと食事は自由参加、会費:自由献金
尚、午後4:30までの参加の方は申し込み不要です。
担当 シスター・碓(いかり)政子
☎052-782-5582
FB 「青年のための聖書の学び」
HP http://www.concepcionistas.jp/

(祭) 祭日(祝) 祝日(記) 記念日
10月の教会暦

1日(木) 聖テレジア(幼いイエスの)
 おとめ教会博士(記)
 2日(金) 守護の天使(記)
 4日(日) 年間第27主日
 7日(水) ロザリオの聖母(記)
 11日(日) 年間第28主日
 15日(木) 聖テレジア(イエスの)
 おとめ教会博士(記)
 17日(土) 聖イグナチオ(アンチオケ)
 司教殉教者(記)
 18日(日) 年間第29主日
 25日(日) 世界宣教の日(献金)
 28日(水) 年間第30主日
 聖シモン 聖ユダ使徒(祝)

11月の主な教会暦(主日・祭日など)

1日(日) 諸聖人(祭)
 2日(月) 死者の日
 8日(日) 年間第32主日
 15日(日) 年間第33主日
 聖書週間(22日)
 王であるキリスト(祭)
 22日(日) 王であるキリスト(祭)
 29日(日) 待降節第1主日

教区行事予定

10月
 3日(土) 殉教者顕彰委員会
 4日(日) 宣司評常任委員会
 8日(木) 教区顧問会
 10日(土) 信仰教育委・神学講座⑥
 家庭委・この道を歩んで⑥
 信徒協理人会
 日比野教会堅信式
 東八事第一墓地追悼ミサ

めぐみかん
ガンバル!!
by あこ

開いた箱が大変だ大変だ
 魔物がでてくるぞ

パンドラの箱が開いた
 大変だ大変だ
 魔物がでてくるぞ

災いを封じ込めて蓋を
 閉めなさいや大変だ

その箱を
 開いたら
 え?

その箱を開いたら
 え? 何? 何? 何?

人間の歴史こそが
 何をかを物語る

人間の歴史こそが
 何をかを物語る

神さまを悲しませる
 災いの原因は
 箱の中だけにある
 わけじゃない

しとくこと
 再認識できたのは
 物の怪の幸い

告知板

福信館便り ☎052(935)7180
 ◆10月の炊き出し
 木1日東山、8日布池、15日聖霊・

28日(土) 青年委員会、典礼委員会
 24日(火) 愛知県キリスト教連合会
 23日(月) 共助組合共助の集い
 21日(土) レジオマリエ名古屋クリア
 19日(木) 司祭協議会、教区顧問会
 17日(火) J.C.N.A.
 15日(日) 豊橋教会堅信
 14日(土) 城北B会議、城東B会議、城南B会議
 12日(木) 教区顧問会
 10日(火) 樹の会例会
 8日(日) 東八事第二墓地追悼ミサ
 三河B会議、教区中高生会
 1日(日) 岡崎教会堅信式

12月(月) 教区中高生会
 難民移住移動者委・共に生きるための研修会
 13日(火) 樹の会例会
 15日(木) 司祭協議会
 17日(土) レジオマリエ名古屋クリア
 18日(日) 東山教会堅信式
 愛岐B会議
 22日(木) 司祭協議会
 24日(土) 青年委員会
 25日(日) 瀬戸教会堅信式
 31日(土) 典礼委員会

建設費の返済に協力を

533件 27,084,856円
 目標額 40,000,000円 (8月末)

達成率 約67.7%

郵便振替 00810-5-50605
 加入者名 カトリック名古屋教区
 通信欄に「福信館建設」と必ずご記入ください。

訃報

カトリック多治見修道院院長
 山 樹の会・南山、22日城北橋、29日南山
 2日喜望の会、9日不二聖心、16日長浦、23日恵方町、30日江南

9月10日帰天。69歳。1946年1月20日長崎県五島生まれ。68年3月初誓願。73年3月終生誓願。同年9月29日司祭叙階。74〜76年聖ルドヴィコ神学院、長崎南山中・高教員。76〜82年国内及び国外留学。83〜84年立願神学生指導司祭。84年〜94年修練長。89〜97年多治見修道院院長。83〜14年南山大学教員。96〜03年南山学園職員。

2015年度 家庭委員会主催
家庭委員会主催の新テーマ
「この道を歩んで」が始まりました。
 ~6人のシスターが語る自分史(家庭と召命)~
 開催日 10月10日(土)
 時間 毎回午後1時30分~3時30分
 会場 聖パウロ女子修道会名古屋修道院(聖パウロ書院)
 *参加費無料、*一回だけでも参加できます。
 *事前申し込みの必要はありません。
 問合せ 椎尾匡文神父(東山教会 ☎052-781-6514)

神言会多治見修道院・黙想会
 閑静な場所、広い院庭で黙想と心身の保養を!
 10月17日(土) 10:00~18日(日) 16:00 指導:及川神父
 イエスは語る「あなたは何かが一番大切だと思っ
 ていますか」と。対象:信徒
 11月14日(土) 10:00~15日(日) 16:00 指導:及川神父
 イエスは語る「あなたはどんな時に一番嬉しいと
 感じますか」と。対象:信徒
 料 金 宿泊費2,500円+指導者への謝礼+自由献金
 食 事 仕出し弁当又はスーパーで購入。
 申込み 神言会多治見修道院研修センター(9時~16時30分)
 ☎0572-22-2038 / Fax 0572-22-2076
 携帯電話 090-7696-8089

アヴィラの聖テレジア生誕500周年記念
4回の講話と黙想会案内
 (2014年10月15日~2015年10月15日)
「教会博士である聖女に学ぶ祈りと自己探求」
 アヴィラの聖テレジア生誕500周年記念に当たりこの聖人が
 私たちに教えてくれた祈りの実践を学ぶべく全4回の黙想会
 を開催します。一人でも多くの方の参加をお待ちしています。
 黙想会日程 第4回 10月16日(金)~17日(土)「神との一致の祈り」
 尚、4回目は一泊二日の黙想会を予定しています。
 指導司祭 ヘリ・ティブルティウス神父(神言修道会日本管区修練長)
 時間 毎回午前10時~午後4時(予定)
 場所 カトリック多治見教会 2階205室
 持ち物 聖書、筆記用具、ロザリオ等 参加費 各回1,000円
 その他 昼食はお弁当をご用意ください。お茶その他はこ
 ちらで準備します。
 申込先 神言会多治見修道院研修センター
 ☎0572-22-2038 Fax 0572-22-2076
 出来れば一週間前までにお申し込みください。黙想
 のために個室を希望される方、宿泊を希望される方は
 その旨お伝えください。(個室1,500円、宿泊2,500円)

聖パウロ女子修道会(パウロ書院)からのお知らせ
「ご一緒に、ロザリオの祈りをしましょう」
 日時 10月11日(日) 午後2時から(40分程)
 11月 8日(日) 午後2時から(40分程)
 場所 聖パウロ女子修道会(聖パウロ書院)
 名古屋市東区葵1-13-2
 ☎052-936-4443

「読書会」を開きます。
 日時 毎月第3土曜日 午後2時~3時30分
 第1回目は10月17日(土)
 場所 聖パウロ書院1階サロン
 本 『キリスト教とは何か? ①復活の秘儀をめぐ
 って』 粕谷甲一著
 毎月1章ずつ7回に分けて読みます。(方法は変更
 可能です)
 対象者 信者さんに限りません。どなたでもお越しください。
 問合せ 聖パウロ女子修道会(聖パウロ書院)
 名古屋市東区葵1-13-2
 ☎052-936-4443
 担当:シスター森

召命の集い
「今ここで福音に生かされて…」—在俗奉獻という生き方—
 日時 10月24日(土) 10:30~16:00
 場所 聖マリア在俗会本部 名古屋市昭和区南山町6番1
 指導司祭 デインド師(神言修道会司祭)
 連絡・申込み 井上敏子
 電話/FAX 052-836-2055
 メールアドレス is-mariae@soleil.ocn.ne.jp
 お申し込みの際に所属教会名、年齢、連絡先住所
 と電話番号をお知らせください。
 対象 独身カトリック女性信徒、年齢40歳位まで。
 会費 1,000円(昼食代を含む)
 申込み締切り 10月17日(土)

小教区報をお送りください
 教区ニュースでは小教区で発行するニュースや小教区報
 を募集しています。大変お手数ですが発行の度にお送り願
 いたいと思います。その中から、楽しい記事や勉強になる
 記事などを名古屋教区ニュースに掲載して紹介してまいり
 ます。ご協力を宜しくお願いします。送り先住所は教区
 ニュース1面に掲載してあります。

第12回 AJU 自立の家主催
多治見修道院ワインフェスタ
 (8か国の修道院のワインを味わう)
 日時 11月3日(火・祝) 10:00~14:30 開場9:30
 雨天決行
 場所 多治見修道院 岐阜県多治見市緑ヶ丘38番地
 参加費 3,000円(ワイン1本付き)、当日3,500円(未成
 年者は入場無料 ソフトドリンク有料)
 交通 お客様専用駐車場は用意していません。公共交
 通機関をご利用ください。
 JR 多治見駅北口よりシャトルバス(午前9時から)
 随時運行。徒歩で約30分
 イベント 野外コンサート、出店など多彩な催し物
 問合せ ワインフェスタ実行委員会(小牧ワイナリー)
 ☎0568-79-3001 FAX 0568-79-3002
 E-mail: komakiwinery@aju-cil.com

オリジナル記念チャリティーワイン
 松浦悟郎司教様のご厚意により売上金の一部(1本につき
 500円)が東日本大震災被災地支援として、大阪教会管区・
 大船渡ベースの運用に使われます。
 赤ワイン750ml、白ワイン750ml 各2,000円消費税込み、
 送料一律600円、送り先一カ所に6本以上のご注文で送料無料。
 ワインのご注文お問い合わせは
 社会福祉法人 AJU 自立の家 小牧ワイナリー
 ☎0568-79-3001 FAX 0568-79-3002
 e-mail: komakiwinery@aju-cil.com

バザー
 10月11日(日) マックバザー(城北橋)
 10月25日(日) 熱田教会、膳棚教会
 11月1日(日) 一宮教会
 11月8日(日) 恵方ふれあいバザー

典礼委員会主催
朗読奉仕者ミニ研修会
 内容 朗読練習
 講師 工藤典氏(南山教会信徒)
 日時 11月7日(土) 14:00~16:00(13:30 受付)
 会場 南山教会大聖堂
 参加費 500円 持ち物 「毎日のミサ」11月号、12月号
 申込み 10月25日(日)